

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	ニセコ町		代表者名	片山 健也	
担当者部署	総務課情報管理係		連絡先電話番号	0136-44-2121	
担当者役職	係長	担当者氏名	藤 志伸	連絡先E-mail	
住所	048-1595 北海道ニセコ町字富士見55番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	喜多 耕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	2024年1月15日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時30分	16時30分	60
			活動時間（分）	360	
3-2. 派遣場所	会場名	ニセコ町役場庁舎	最寄駅	JRニセコ駅	
	所在地	北海道虻田郡ニセコ町字富士見55番地	最寄駅からの交通手段	徒歩・タクシー・デマンドバス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員、(株)ニセコ雪森考舎(第3セクター)	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	ニセコ町はSDGs未来都市の選定受け、ゼロカーボン社会を目指す中で森林のCO2吸収に着目するもニセコ町内の森林保全事業が行われていなかった。山主が持っている森林は森林組合等が施業を行っていない、補助金がないため手をつけていない森林が多数あり、民有林の取得を含めて施業、管理できる森林の面積を増やしたいが、樹種分布と民有林の状況が把握できず、効果的な事業着手箇所の選定が困難な状況にある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	民有林の取得と施業のための効率的な林道開設を行い、効果的な森林保全事業を実行する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	QGISを活用し、現状把握のための、各データ（背景図、地番図、森林計画図など）を見える状態にする。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	紙ベースでは到底困難な地図の重ね合わせができるようになった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回QGISを活用した分析手法の指導を受ける。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 基本的操作方法の講義を受けたのみのためアンケート調査を行わなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	職員、(株)ニセコ雪森考舎(第3セクター)自らがGISを活用して効果的な森林保全事業を実施できるようにする。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

